

山口市芸術家育成支援事業

第6回やまぐち新進アーティスト大賞

応募アーティスト数：9名

最終選考ノミネート者：6名

イシカワ ユウイチ (24)

うすき まりみ
臼杵 万理実 (27)

おかだ わたる
岡田 航 (24)

とくまん たかよし よろずあーと
徳万 隆良 Yorozuart (37)

ハセガワ タカシ (38)

まこと
誠 (32)

(50音順・敬称略、年齢基準日：審査日)

(総評)

今回は、応募者の大半が20～30代の若きアーティストであり、審査会場も、新鮮な萌芽に包まれ、明るい雰囲気であった。まず、委員全員による投票。上記の六作家が選出された。つぎに、満票を獲得していたハセガワ、臼杵両氏を中心に合議し、最終的に臼杵万理実氏の大賞授賞が全員一致で決定した。氏の地元山口に活動の場を設け、子どもたちの創造活動に寄りそいながら、街並みに展開される文化活動にも積極的に参加。アートを通じた魅力ある地域づくりを目指した活動に、今後の期待をこめての授賞となった。

(第6回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 足立明男)

(やまぐち新進アーティスト大賞選評)

日々のうつろいを心のうちにひそめつつ、その時の情感や気持ちを視覚に刻み込む。やさしく、ていねいな表現力が記憶に残る。主調色はブルー系統。アクセントとして暖色が入り込む。

形態として、物憂げな少女の顔や姿が、こまやかに線描写されている。透明感の強い空間に置かれると似合うようだ。作品を拝見し、ほっとしたり、ちょっと微笑んだりした。

今後の作品づくりを大いに期待します。

(第6回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員 今井徹也)

・・・第6回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

足立 明男 (山口情報芸術センター館長)

井生 文隆 (山口県立大学教授)

石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館学芸課長)

今井 徹也 (今井徹也建築設計事務所)

千葉 喜彦 (画家)

大和 保男 (陶芸家)

(50音順・敬称略)